

第 1 回郡山市学校教育審議会・特別委員会 議事内容

日 時	令和元年8月7日（水） 午後1時30分～3時
場 所	郡山市役所本庁舎5階 教育委員会室
出席者	<p>【委員：9名】</p> <p>富田孝志会長、大和田野芳郎委員、堀田隆委員、佐藤百合子委員、平塚康晴委員、國分球子委員、辻正弥委員、西園敏弘委員、大平泉委員</p> <p>【特別委員：6名】</p> <p>富田孝志委員長、堀田隆委員、佐藤百合子委員、平塚康晴委員、宗像金三委員、橘文紀委員</p> <p>【事務局：15名】</p> <p>小野義明教育長、伊藤教育総務部長、早崎学校教育部長 外</p>

1 開 会	
事務局	第1回郡山市学校教育審議会を開会する。協議事項の（1）郡山市立学校通学区域の指定についての協議終了後、特別委員会に移りたい。
2 教育長あいさつ	
教育長	<p>昨年度御協議いただいた、本市における今後の郡山市立学校の学校規模・学校配置のあり方について、平成31年4月25日に開催された4月教育委員会定例会において承認されたことから御礼を申し上げる。</p> <p>令和元年度から通学区域の弾力的運用制度として、児童数の増加が見込まれる富田東小学校及び行健第二小学校に、隣接する小学校への通学を認める「隣接区域選択制」の導入と、他地区の小学校からの就学を認める「特認校制」に新たに金透小学校を加えたところであり、今後も多くの児童に制度を利用していただけるよう周知に努めていきたい。</p> <p>本日は、「郡山市立学校通学区域の指定について」や2年目を迎える隣接区域選択制</p>

	<p>などの「弾力的運用制度のフォローアップについて」御協議いただきたい。</p> <p>7月には本市の健康づくりの取り組みが、内閣府の「SDG s 未来都市」に県内で初めて選ばれた。御存知のとおり、SDG s とは国連で決めた 2030 年までに、世界をよりよくするための目標で、貧困、教育など 17 のゴールとより具体的な 169 項目のターゲットが定められており、本市としても、この SDG s の目標の達成のために、各学校における「教育活動目標」を積極的に推進し、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し取り組んでいきたい。</p>
3 事務局職員紹介	
事務局	伊藤教育総務部長及び早崎学校教育部長が職員紹介
4 協 議	
事務局	欠席した委員は無く、出席委員は過半数を超えているため、郡山市学校教育審議会条例第 6 条第 2 項により会議は成立していることを報告する。また、議事は会長が議長となり進めていただく。
議 長	会議の公開・非公開について諮りたいので、事務局から説明をお願いします。(資料)
事務局	会議の公開・非公開については、「郡山市附属機関等の会議の公開に関する要領」の規定に基づき、会議において決定するとされている。当審議会は会議の非公開に該当する事由がないため、会議を公開としたい。
全委員	異議なし
議 長	会議を公開として開催する。
議 長	事務局から(1)郡山市立学校通学区域の指定についての説明をお願いします。
事務局	【(1)郡山市立学校通学区域の指定についての説明(資料)】
委 員	未指定の学区については、資料にあるように一番近い赤木小学校が良いと思う。
議 長	中学校についても意見をいただきたい。
委 員	住宅が無かったから学区が指定されていなかったという事情で、資料にあるように未指定の周りが赤木小学校、郡山第二中学校であれば、そのまま認めるのが妥当かと

	思う。
議 長	本委員会の方針としては、郡山市字大名良等の通学区域の指定については、小学校は赤木小学校、中学校は郡山第二中学校を指定するのが望ましいという結論で答申したい。
議 長	特別委員を入室させ特別委員会の開会を宣言する。 事務局から（２）弾力的運用制度のフォローアップについての説明をお願いする。
事務局	【（２）弾力的運用制度のフォローアップについての説明（資料）】
委 員	昨年度の募集期間後に「制度を利用したかった。」などの問合せはあったのか。
事務局	募集期間後の問合せはなかった。
委 員	西田学園について、対象が１年生と７年生から全ての学年にする訳だが、やはりもっと児童数を増やしたいのか。
事務局	西田学園は２年が経過しその学校環境は、５校が一緒になり一つの学園という環境になってきて、全学年を対象としても大丈夫と判断したところである。
委 員	西田学園は 12 学級以上の小学校が対象だが、金透小学校には西田学園に合わせ、12 学級以上の小学校を対象とする考えはないのか。
事務局	金透小学校については、19 学級以上の大規模校を指定したところである。 12 学級以上とすると、児童が移動したことにより、その学校が 10、11 学級に減ることを懸念した。この件については、今後何年かフォローアップしていくので、検討していきたい。
委 員	資料にあるように、今回の調査で分かったのは、学校に就学している途中で、学校を変えるということには抵抗があるので、「未就学児が 1 年生になるとときには学校を選択できます。」という情報を周知して欲しい。
事務局	入学通知書に同封する予定である。
委 員	各学校の受入人数が 38 人とか 36 人とあるが、この場合は、1 クラス増えるという

	ことか。
事務局	1クラス増やすことができるということで、校長が自分の学校の教室と余裕教室と、今の人数を総合的に勘案して、学級が増えてもいいと判断した結果である。
議長	審議が終了したので議長職を解かせていただく。
5 その他	
事務局	事業評価検証委員会についての説明
6 諸連絡	
事務局	今後、学校教育に関する事項等についての審議を検討している。
7 閉会	
事務局	以上をもって、第1回郡山市学校教育審議会・特別委員会を閉会する。